災害時にもおいしいご飯を

8月23日　おいしい防災ごはんの作り方講座

いつ起きるか分からない災害に備えて、災害時にも日頃食べているようなおいしいご飯を食べることができるよう、おいしい防災ごはんの作り方講座をあやめ会館で開催しました。

ハイゼックス（災害用炊飯袋）を使い、炊き込みご飯や茶碗蒸し、シチューなどを調理。参加者は、予想以上のおいしさに驚いた様子でした。

身の回りにある意外なものも調理器具に変身▶

水害時の連携を約束

8月23日　伊豆長岡温泉旅館協同組合と協定を締結

水害時における一時避難施設としての使用に関する協定を、伊豆長岡温泉旅館協同組合と締結。調印式を伊豆長岡庁舎で行いました。

この協定は、市内で水害が発生した際、同組合が指定する施設を一時避難所として無償で使用させてもらうという内容です。同組合杉山理事長は、「災害時は市と連携し、迅速な対応をしたい」と話しました。

◀署名をする杉山理事長と小野市長

地域と学校をつなぐ人材育成を

8月26日　市社会教育委員会から答申書提出

昨年７月に市教育委員会が諮問（しもん）した、生涯学習の観点から「地域とともにある学校づくり」の推進について、市社会教育委員会から答申書の提出を受けました。答申では、地域・学校・行政の情報に精通し、地域と学校をつなぐ「コーディネーター」育成の必要性を強調しており、市教育委員会では、この答申を生かした施策を検討していきます。

答申書を手渡す渡辺社会教育委員長（右）▶

景観に調和した建物が完成

8月31日　反射炉ガイダンスセンター内覧会を開催

今年12月11日にオープンする予定の「韮山反射炉ガイダンスセンター」の建物が完成し、報道関係者向けの内覧会を開催しました。

ガイダンスセンターは韮山反射炉の価値や歴史、仕組みなどを展示や映像で学ぶことができる施設で、現在、オープンに向けて内部の展示工事を進めています（工事の様子は市ホームページでも公開）。

◀ガイダンスセンターの外観

本物の消火器を使って消火！

9月4日　市内各地で総合防災訓練を開催

南海トラフ巨大地震などの大規模地震を想定した総合防災訓練を、市内各地区で実施しました。

大規模地震が発生した際は、自分自身や家族の命を自分で守る「自助」、近所や友達、職場などで助け合う「共助」が重要です。

多くの市民が参加し、炊き出しや応急手当訓練など、いざという時に備えた訓練を行いました。

◀奈古谷区では、小学生が実際に消火器を使って訓練

姉妹都市とスポーツを通して交流

9月10日　長岡京市とのスポーツ交流会

姉妹都市である「京都府長岡京市」と、スポーツを通しての交流を毎年実施しています。

今年のスポーツ競技はバレーボール。市バレーボール連盟登録の２チームと長岡京市から２チームが参加し、長岡体育館でスポーツ交流を楽しみました。長岡京市からはスタッフと選手合わせて26人が参加。大いに盛り上がった交流会となりました。

白熱する会場内▶

モンゴルでの体験を報告

9月11日　中学生海外研修の報告会が開催

８月に市内中学生がモンゴル国を訪問した中学生海外研修の報告会が、あやめ会館で開催されました。

６日間にわたる研修中の様子をスライドで紹介した後、参加した中学生４人がモンゴル滞在中の体験や感じたことなどを報告。モンゴルとの交流など、今後の国際交流を見据え、自分の思いを発表しました。

◀研修中の様子をスライドで紹介

まごころ市場の野菜が道の駅で！

9月15日　道の駅でまごころ市場定例市が開催

まごころ市場の地場産野菜や加工品を販売する「まごころ市場定例市」が道の駅「伊豆のへそ」で開催されました。野菜や新米、出来たてのこんにゃくなどが並び、新米の試食も行われました。

定例市は、地元の人にも道の駅を訪れてもらう催しとして、今後も毎月第１、第３木曜日を基本に、まごころ市場の定休日に開催される予定です。

販売される野菜を手に▶